

データの送付方法

◆ 送付をお願いするデータ項目 と データ形式

《データ項目》

DPC対象病院・DPC準備病院は、厚生労働省調査フォーマットの「様式1」のデータ(*)をお送りください。特別な処理は必要ありません。

(*) 厚労省提供の形式チェックソフトでエラーが無い状態になった「様式1」分です。

変数の定義はDPCの入力ガイドに従ってください。DPCの入力ガイドは以下のウェブサイトに載っています。

平成22年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料(平成22年7月5日時点)
http://www.prrism.com/dpc/setsumeikai_20100705.pdf

※このうち、19ページからはじまる「様式1」の入力方法をご参照ください。

《データ形式》

厚労省提出の際と同じもの(タブ区切のテキスト形式)、もしくは、エクセルファイルでお送りください。

※いずれの場合も、患者一人分のデータを1行としてください。

◆ 対象データ

●2008年1月～2010年12月のデータをお送りください

- 各年12カ月分のデータがない場合は、それぞれ半年分(7～12月)のデータのみでも結構です。
- 過去3年分のデータがそろわない場合は、可能な半年分からで結構です。
- これまでにデータを送付いただいた病院は前回送付以降のデータをお送りください。
 - * 前回送付いただいたデータに不規則データが多く、その後に修正した場合は、修正後のデータセットをお送りいただければ、新しいデータで再算出いたします。(ラベルにその旨をお示しください。)

●2011年のデータ；

- 2011年7月と2012年1月に6ヶ月分のデータ(1～6月分、7～12月分)をお送り下さい。
 - * 2011年4月以降は研究費の経費充当ができないため、2011年のHSMR算出は実費負担をお願いする可能性がありますことなにとぞご了解ください。

※HSMRの算出は統計データを用いますので、個人情報を使用することは一切ありません。

◆ データの送付方法

●ファイル名は；、

ファイル名（様式1もしくは指定項目）__県番+医療機関コード数字9桁__対象データ西暦下2桁+月
でお願いします。

例 FF1_123456789_0901.txt （アンダーバーも含めてすべて半角）
↑=様式1なので<FF1>

●提出媒体はMO（640M又は1.3G；※MS-DOSフォーマット準拠）またはCDでお願いします。

●媒体に貼るラベルに以下の事項をお書きください。

作成例

- ①□ 施設名：○○○病院
- ② 施設コード：*****（9桁）
- ③.（現時点）“DPC対象病院”または”DPC準備病院”
- ④ “(A)新規参加施設”または“(B)登録済み施設”
- ⑤ 収録したデータの対象期間：
 年 月～ 年 月
- ⑥ 2008年度改定の反映を開始した年月：__年__月から
2010年度改定の反映を開始した年月：__年__月から
- ⑦ ファイル形式： テキストか エクセルか
- ⑧ (A) 厚労省（DPC調査事務局）に提出したものと
(B) 上記以外
- ⑨ 作成日 年 月 日

(ラベル記載についての注)

- ③ DPC対象病院でも準備病院でもないが、厚労省指定の方法でDPCデータ<様式1>をご送付いただけの病院は「“それ以外”」と記載してください。
- ⑥ 2008年度のDPC指針の改定により、3(19)様式1開始日、3(20)様式1終了日、6(54)テモゾロミド（初発の初回治療に限る）の有無、の項目が増え、報告する項目の数が136から139に増えました。また、2010年度の改定でも項目の追加と削除により、報告する項目の数が139から122に減りました。それぞれ、改定を報告データに反映させ始めた月をご教示ください。

●1枚の媒体（MO または CD）に全データを収めていただくか、それが難しい場合（1枚に収まらない場合は複数枚に分けて収録してください。ラベルに収録データの対象期間の明記を忘れずをお願いします。

注1) 書き込み禁止状態で提出をお願いします。（MOの場合はライトプロテクトタブを「記録可」から「記録不可」にスライドしてください。

注2) データの圧縮は行わないで下さい。

●同封のメモ（またはラベルに記載）にて以下の事項をお知らせください。

➤ 送付いただいたデータについてお問い合わせする際の

① 送付日 ②担当者のお名前 ③部署名 ④メールアドレス

➤ 以前にお送りいただいたデータを、今回修正して再送付いただく場合は、新規データセットと、修正後再送付データセットを別の媒体に収録し、後者にはその旨を記載してください。

例； 修正後再送付（年 月～年 月分）

◆ 送付先住所

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学大学院 医学系研究科 国際保健学分野 内

医療安全全国共同行動事務局（HSMR 担当）

e-mail: toHSMR@ppscamp.net 電話 022-717-8196 FAX 022-717-8198

◆次回提出にあたって注意いただきたい事項の案内◆

| 項目名 | 入力する桁 | 入力規則の説明 | 今回の分析でよく見られたエラーの例 |
|--|---------------|---|--|
| 1(1)施設コード | 半角数字 9桁固定 | 診療報酬明細書に記載する都道府県番号と医療機関コードを併せて入力する。 施設コード = 都道府県番号(2桁) + 医療機関コード(7桁) | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 2(2)性別 | 半角数字 1桁固定 | 男性は“1”を、女性は“2”を入力する。 | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 2(3)生年月日 | 半角数字 8桁固定 | YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 生年月日が1977年6月10日 → 19770610 | 入力が不完全である。 例)西暦年と月までしか入力していないケースがありました。(2009年7月15日の場合、20090715と入力しなければならないのに、200907と入力されている等) |
| 3(3)入院年月日 | 半角数字 8桁固定 | 今回入院における実際の入院日を入力する。保険における入院日が実際の入院日と異なる場合があるので注意すること。 YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 入院年月日が2010年6月10日 → 20100610 | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 3(4)退院年月日 | 半角数字 8桁固定 | YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 退院年月日が2010年6月10日 → 20100610 子様式1で転棟し、入院が継続する場合は 00000000 を入力する。 | 入力されるはずのない数字が入力されている。 例)“99999999”と入力されているケースがありました。(3(4)退院年月日 の入力「転棟し、入院が継続する場合は 00000000 を入力する。」と、3(14)前回退院年月日 の入力「初回入院の場合は“99999999”を入力する。」)とを取り違えていると考えられます。) |
| 3(9)予定・緊急入院区分 | 半角数字 1桁固定 | 3(6)入院経路が“2”「一般入院」の時のみ入力。 予定入院・その他の場合は“1”を、救急医療入院の場合は“2”を入力する。 「救急医療入院」とは次に掲げる状態にある患者に対して、医師が診察等の結果、緊急に入院が必要で有ると認めたものを指す。 ・吐血、喀血又は重篤な脱水で全身状態不良の状態 ・意識障害又は昏睡 ・呼吸不全又は心不全で重篤な状態 ・急性薬物中毒 ・ショック ・重篤な代謝障害(肝不全、腎不全、重症糖尿病等) ・広範囲熱傷 | “1”、“2”以外の数字が入力されている。 例)“0”、“3”と入力しているケースがありました。 |
| 3(12)退院時転帰 | 半角数字 1桁固定 | 退院時における転帰について、主治医の判断したものに基づく区分に該当する“1”～“7”、“9”の値を入力する。(※1 区分表は下記) なお、正常分娩及び人間ドックの場合は、「その他」に該当するものとして“9”を入力する。 | “1”、“2”、“3”、“4”、“5”、“6”、“7”、“9”以外の数字が入力されている。 例)“0”と入力しているケースがありました。 |
| 4(4)入院の契機となった傷病(ICD10) | 半角文字 5桁以内 | 最初の1文字がアルファベット(A-Z)から始まる、2文字目以降は数字である | ICD10コードが半角ではなく、全角で入力されている。 1文字目がアルファベットで始まっていない。 例)“O”(オー)や“D”(ディー)を“0”(ゼロ)と入力しているケースがありました。 |
| 6(7)入院時のADLスコア (※平成22年度7月以降は、6(9)に改訂されています) | 半角数字 10桁固定 | 入院時に下表の分類にそって各分類の値を決め、その値を連ねて入力する。15歳以上の場合には必須(ただし産科の患者を除く)。(※2 区分表は下記) 食事=“1”, 移乗=“2”, 整容=“1”, トイレ動作=“1”, 入浴=“1”, 平地歩行=“1”, 階段=“1”, 更衣=“1”, 排便管理=“0”, 排尿管理=“0”の場合は“1211111100”と入力する。 ※“9”は、どうしてもわからない場合にのみ使用することとし、極力使用しないようにする。 | 入力されるはずのない数字が入力されている。 |

※1 3(12)退院時転帰 の区分の対応は下表のとおり。

| 値 | 区 分 |
|---|---|
| 1 | 最も医療資源を投入した傷病が治癒したと判断される場合 |
| 2 | 最も医療資源を投入した傷病が軽快したと判断される場合 |
| 3 | 最も医療資源を投入した傷病(白血病、潰瘍性大腸炎、クローン病等)が寛解したと判断される場合 |
| 4 | 最も医療資源を投入した傷病が不変と判断される場合 |
| 5 | 最も医療資源を投入した傷病が増悪したと判断される場合 |
| 6 | 最も医療資源を投入した傷病による死亡 |
| 7 | 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡 |
| 9 | その他 |

※2 6(7)(平成22年度7月版では6(9))入院時のADLスコア の分類と所見の対応は下表のとおり。

| 分 類 | 所 見 | | | |
|------------------------|-----------------|--|---------------|-----|
| | 自 立 | 一 部 介 助 | 全 介 助 | 不 明 |
| 食 事 | 2 | 1 切ったり、バターを塗ったりなどで介助を必要とする | 0 | 9 |
| 移 乗 | 3 | 2 軽度の介助で可能 1 高度の介助を必要とするが、座ってられる。 | 0 座位バランス困難 | 9 |
| 整 容 | 1 顔/髪/歯/ひげ剃り | 0 | | 9 |
| トイ レ 動 作 トイ レ の 使 用 | 2 | 1 多少の介助を必要とするがおおよそ自分一人できる。 | 0 | 9 |
| 入 浴 | 1 | 0 | | 9 |
| 平 地 歩 行 | 3 | 2 一人介助で歩く 1 車いすで自立 | 0 | 9 |
| 階 段 | 2 | 1 | 0 | 9 |
| 更 衣 | 2 | 1 | 0 | 9 |
| 排 便 管 理 | 2 | 1 時々失敗 | 0 失禁 | 9 |
| 排 尿 管 理 | 2 | 1 時々失敗 | 0 失禁 | 9 |

「入力規則の説明」は厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料を引用しております。詳細はそちらをご参照ください。

 **数字・アルファベットは半角でご入力ください。**(文字化けにより分析ができないことがございます。)

◆次回提出にあたって注意いただきたい事項の案内◆

| 項目名 | 入力する桁 | 入力規則の説明 | エラーの例 |
|--|---------------|--|---|
| 1(1)施設コード | 半角数字 9桁固定 | 診療報酬明細書に記載する都道府県番号と医療機関コードを併せて入力する。 施設コード = 都道府県番号(2桁) + 医療機関コード(7桁) | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 2(2)性別 | 半角数字 1桁固定 | 男性は“1”を、女性は“2”を入力する。 | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 2(3)生年月日 | 半角数字 8桁固定 | YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 生年月日が1977年6月10日 → 19770610 | 入力が不完全である。 例)西暦年と月までしか入力していないケースがありました。(2009年7月15日の場合、20090715と入力しなければならないのに、200907と入力されている等) |
| 3(3)入院年月日 | 半角数字 8桁固定 | 今回入院における実際の入院日を入力する。保険における入院日が実際の入院日と異なる場合があるので注意すること。 YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 入院年月日が2010年6月10日 → 20100610 | 未入力や、入力されるはずのない数字が入力されているケースがありました。 |
| 3(4)退院年月日 | 半角数字 8桁固定 | YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)の値(計8桁)を入力する。 例 退院年月日が2010年6月10日 → 20100610 子様式1で転棟し、入院が継続する場合は 00000000 を入力する。 | 入力されるはずのない数字が入力されている。 例)“99999999”と入力されているケースがありました。(3(4)退院年月日 の入力「転棟し、入院が継続する場合は 00000000 を入力する。」と、3(14)前回退院年月日 の入力「初回入院の場合は“99999999”を入力する。」とを取り違えていると考えられます。) |
| 3(9)予定・緊急入院区分 | 半角数字 1桁固定 | 3(6) 入院経路が“2”「一般入院」の時のみ入力。 予定入院・その他の場合は“1”を、救急医療入院の場合は“2”を入力する。 「救急医療入院」とは次に掲げる状態にある患者に対して、医師が診察等の結果、緊急に入院が必要であると認めたものを指す。 ・吐血、喀血又は重篤な脱水で全身状態不良の状態 ・意識障害又は昏睡 ・呼吸不全又は心不全で重篤な状態 ・急性薬物中毒 ・ショック ・重篤な代謝障害(肝不全、腎不全、重症糖尿病等) ・広範囲熱傷 | “1”、“2”以外の数字が入力されている。 例)“0”、“3”と入力しているケースがありました。 |
| 3(12)退院時転帰 | 半角数字 1桁固定 | 退院時における転帰について、主治医の判断したものに基づく区分に該当する“1”～“7”、“9”の値を入力する。(※1 区分表は下記) なお、正常分娩及び人間ドックの場合は、「その他」に該当するものとして“9”を入力する。 | “1”、“2”、“3”、“4”、“5”、“6”、“7”、“9”以外の数字が入力されている。 例)“0”と入力しているケースがありました。 |
| 4(4)入院の契機となった傷病(ICD10) | 半角文字 5桁以内 | 最初の1文字がアルファベット(A-Z)から始まる、2文字目以降は数字である | ICD10コードが半角ではなく、全角で入力されている。 1文字目がアルファベットで始まっていない。 例)“0”(オー)や“D”(ディー)を“0”(ゼロ)と入力しているケースがありました。 |
| 6(7)入院時のADLスコア (※平成22年度7月以降は、6(9)に改訂されています) | 半角数字 10桁固定 | 入院時に下表の分類にそって各分類の値を決め、その値を連ねて入力する。15歳以上の場合には必須(ただし産科の患者を除く)。(※2 区分表は下記) 食事=“1”, 移乗=“2”, 整容=“1”, トイレ動作=“1”, 入浴=“1”, 平地歩行=“1”, 階段=“1”, 更衣=“1”, 排便管理=“0”, 排尿管理=“0”の場合は“1211111100”と入力する。 ※“9”は、どうしてもわからない場合にのみ使用することとし、極力使用しないようにする。 | 入力されるはずのない数字が入力されている。 |

※1 3(12)退院時転帰 の区分の対応は下表のとおり。

| 値 | 区 分 |
|---|---|
| 1 | 最も医療資源を投入した傷病が治癒したと判断される場合 |
| 2 | 最も医療資源を投入した傷病が軽快したと判断される場合 |
| 3 | 最も医療資源を投入した傷病(白血病、潰瘍性大腸炎、クローン病等)が寛解したと判断される場合 |
| 4 | 最も医療資源を投入した傷病が不変と判断される場合 |
| 5 | 最も医療資源を投入した傷病が増悪したと判断される場合 |
| 6 | 最も医療資源を投入した傷病による死亡 |
| 7 | 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡 |
| 9 | その他 |

※2 6(7)(平成22年度7月版では6(9))入院時のADLスコア の分類と所見の対応は下表のとおり。

| 分 類 | 所 見 | | | |
|------------------------|-----------------|--|---------------|-----|
| | 自 立 | 一 部 介 助 | 全 介 助 | 不 明 |
| 食 事 | 2 | 1 切ったり、バターを塗ったりなどで介助を必要とする | 0 | 9 |
| 移 乗 | 3 | 2 軽度の介助で可能 1 高度の介助を必要とするが、座ってられる。 | 0 座位バランス困難 | 9 |
| 整 容 | 1 顔/髪/歯/ひげ剃り | 0 | | 9 |
| トイ レ 動 作 トイ レ の 使 用 | 2 | 1 多少の介助を必要とするがおおよそ自分一人で行える。 | 0 | 9 |
| 入 浴 | 1 | 0 | | 9 |
| 平 地 歩 行 | 3 | 2 一人介助で歩く 1 車いすで自立 | 0 | 9 |
| 階 段 | 2 | 1 | 0 | 9 |
| 更 衣 | 2 | 1 | 0 | 9 |
| 排 便 管 理 | 2 | 1 時々失敗 | 0 失禁 | 9 |
| 排 尿 管 理 | 2 | 1 時々失敗 | 0 失禁 | 9 |

「入力規則の説明」は厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料を引用しております。詳細はそちらをご参照ください。

 **数字・アルファベットは半角でご入力ください。**(文字化けにより分析ができないことがございます。)